



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 青山商事株式会社

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼執行役員副社長企画 (氏名) 宮武 真人

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	106,140	7.4	3,124	△19.3	3,077	△27.2	1,652	△27.8
28年3月期第2四半期	98,853	10.3	3,873	135.2	4,226	59.6	2,290	85.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △76百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 3,046百万円 (125.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	31.21	31.20
28年3月期第2四半期	41.80	41.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	369,105	225,981	60.5
28年3月期	399,651	236,723	58.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 223,283百万円 28年3月期 234,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	50.00	—	105.00	155.00
29年3月期	—	50.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	115.00	165.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	6.2	22,000	3.1	22,200	2.6	11,500	△3.1	219.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	55,394,016 株	28年3月期	55,394,016 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	3,083,096 株	28年3月期	1,778,346 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	52,943,458 株	28年3月期2Q	54,788,082 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式(185,900株)を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成28年11月16日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

平成29年3月期の個別業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	192,300	1.4	20,000	4.2	20,550	2.3	12,300	6.8	235.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	13
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	13
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	15
5. 補足情報	16
(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高	16
(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	74,608	73,878	729	101.0	2,174	2,634	△460	82.5
カジュアル事業	8,605	9,174	△568	93.8	△218	360	△579	—
カード事業	2,268	2,061	206	110.0	847	670	176	126.4
印刷・メディア事業	5,049	5,353	△303	94.3	△97	△190	93	—
雑貨販売事業	7,985	7,715	270	103.5	410	293	116	139.6
総合リペアサービス事業	5,627	—	5,627	—	△17	—	△17	—
その他	3,359	2,112	1,246	159.0	6	78	△72	7.7
調整額	△1,365	△1,442	77	—	19	24	△5	78.1
合計	106,140	98,853	7,286	107.4	3,124	3,873	△748	80.7

(注) 1. セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

2. 平成27年12月16日付にて、ミニット・アジア・パシフィック(株)を完全子会社化したことに伴い、「総合リペアサービス事業」を報告セグメントに追加しております。

《連結経営成績》

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策などにより雇用情勢や所得環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、急激な円高や中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気の下振れ懸念などから、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、ビジネスウェア事業の収益力、競争力の強化を目指した諸施策を実施するとともに、グループ経営の基盤整備と収益力強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 1,061億40百万円(前年同期比107.4%)

営業利益 31億24百万円(前年同期比80.7%)

経常利益 30億77百万円(前年同期比72.8%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 16億52百万円(前年同期比72.2%)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下の事業別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

[青山商事(株)ビジネスウェア事業、ブルーリパース(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)]

当事業の売上高は746億8百万円(前年同期比101.0%)、セグメント利益(営業利益)は21億74百万円(前年同期比82.5%)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)のビジネスウェア事業につきましては、「洋服の青山」4店舗、新業態のレディース専門店「ホワイト ザ・スーツカンパニー」及びカスタムオーダー店「ユニバーサル ランゲージメジャーズ」をそれぞれ2店舗ずつ出店するなど着実な出店を実施するとともに、営業面では「洋服の青山」において、青山グループ1,600店舗突破を記念した『青山祭』の実施や、引き続き「EXILE TRIBE(エグザイルトライブ)」をイメージキャラクターに起用し、スーツ等の機能性を訴求することで、新たな顧客の取り込みを図りました。商品面では「接触冷感」「高通気性」といった夏場の快適機能を備えたドレスシャツや、「超軽量」「高通気性」のビジネスシューズ、梅雨時期に対応した防水レインシューズなど高機能な商品を販売いたしました。

また、好調に推移しておりますレディスにつきましても、ウォッシュブルスーツや「接触冷感」のドレスシャツなど高機能なクールビズ商品や、サマーフォーマル等の品揃えを強化いたしました。こうしたことからビジネスウェア事業の既存店売上高は前年同期比99.8%となりました。

なお、4月から9月までの6ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比98.6%の772千着、平均販売単価は前年同期比102.1%の28,393円となりました。

<ビジネスウェア事業の既存店売上・客数・客単価の前期比推移> (単位：%)

	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期
売上	94.1	105.0	99.8
客数	90.1	99.2	97.1
客単価	104.4	105.8	102.8

<メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移>

	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期
販売着数(千着)	779	782	772
平均販売単価(円)	26,078	27,803	28,393

当第2四半期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

<ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数(平成28年9月末現在)> (単位：店)

業態名	洋服の青山	ネクストブルー	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ブルー エグリージオ	ユニバーサルランゲージメジャーズ	ホワイトザ・スーツカンパニー	合計
出店〔内 移転〕(4月～9月)	5〔1〕	0	0	0	0	2	2	9〔1〕
閉店(4月～9月)	4	0	0	0	0	0	0	4
期末店舗数(9月末)	798	8	47	13	4	4	4	878

(注) 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサルランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

《カジュアル事業》〔青山商事(株)カジュアル事業、(株)イーグルリテイリング〕

当事業につきましては、中核部門であります(株)イーグルリテイリングにおいて、「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」を2店舗出店しましたが、低気温等により夏物商品が低調に推移したことなどから、売上高は86億5百万円(前年同期比93.8%)、セグメント損失(営業損失)は2億18百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)3億60百万円)となりました。

当第2四半期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

<カジュアル事業における業態別の出退店及び期末店舗数(平成28年9月末現在)> (単位：店)

業態名	青山商事(株)カジュアル事業		(株)イーグルリテイリング
	キャラジャ	リーバイストア	アメリカンイーグルアウトフィッターズ
出店(4月～9月)	0	1	2
閉店(4月～9月)	1	0	0
期末店舗数(9月末)	12	7	30

(注) 「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」にはアウトレット店を含めております。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング収入の増加などから、売上高は22億68百万円(前年同期比110.0%)、セグメント利益(営業利益)は8億47百万円(前年同期比126.4%)となりました。

なお、資金につきましては、親会社であります青山商事(株)等からの借入と社債の発行により調達しております。

<カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移>

	平成27年8月期	平成28年2月期	平成28年8月期
有効会員数(万人)	394	399	404
営業貸付金残高(百万円)	46,100	48,915	50,206

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、既存取引先の受注減などにより、売上高は50億49百万円（前年同期比94.3%）となる一方、印刷用紙など原材料価格の低下などにより、セグメント損失（営業損失）は97百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億90百万円）となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、高額商品（150円～500円）の取扱い増加などにより、売上高は79億85百万円（前年同期比103.5%）、セグメント利益（営業利益）は4億10百万円（前年同期比139.6%）となりました。

なお、平成28年8月末の店舗数は119店舗であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

平成27年12月16日付にて、ミニット・アジア・パシフィック(株)を完全子会社化したことに伴い、「総合リペアサービス事業」を報告セグメントに追加しております。

当事業につきましては、売上高は56億27百万円、のれん償却を含めたセグメント損失（営業損失）は17百万円となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（平成28年9月末現在）＞ （単位：店）

地域	ミスターミニット			合計
	日本	オセアニア	その他	
出店（4月～9月）	9	6	1	16
閉店（4月～9月）	9	4	1	14
期末店舗数（9月末）	293	260	26	579

《その他》〔青山商事(株)リユース事業、(株)glob、(株)WTW〕

当社は、平成28年4月1日付で、雑貨・インテリアショップを運営する(株)WTW（ダブルティー）の全株式を(株)バルスより取得し、完全子会社化いたしました。

同社は、雑貨・インテリアショップ「Francfranc（フランフラン）」を運営する(株)バルスが平成23年2月に立ち上げたブランドで、「URBAN. SURF. NATURAL.」をコンセプトとする雑貨・インテリアを取り扱うライフスタイルショップを5店舗展開しております。同社が有する雑貨・インテリア小売分野における高いブランド力と商品開発力に、当社の店舗開発力、アパレル小売のノウハウ等を加え、(株)WTWのさらなる事業拡大を図ることにより、今後の当社グループの利益に寄与するものと考えております。

その他の事業につきましては、上記とおり(株)WTWを完全子会社化したことや、(株)globにおいてFC展開しております「ゆず庵」を4店舗出店したことなどから、売上高は33億59百万円（前年同期比159.0%）となる一方、(株)WTWにおけるのれん償却や、(株)globにおける出店経費等の増加などから、セグメント利益（営業利益）は6百万円（前年同期比7.7%）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜その他の事業における業態別の出退店及び期末店舗数（平成28年9月末現在）＞ （単位：店）

業態名	青山商事(株)リユース事業		(株)glob		(株)WTW	
	セカンドストリート	ジャンブルストア	焼肉きんぐ	ゆず庵	ダブルティー	ダブルティーサーフクラブ
出店（4月～9月）	2	0	0	4	0	0
閉店（4月～9月）	0	0	0	0	0	0
期末店舗数（9月末）	11	2	21	6	4	1

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産について、流動資産は1,819億86百万円となり、前連結会計年度末と比べ311億88百万円減少いたしました。この要因は、商品及び製品が31億94百万円増加しましたが、現金及び預金が173億19百万円、受取手形及び売掛金が85億75百万円、有価証券が97億99百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、1,869億70百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億1百万円増加いたしました。この要因は、投資有価証券が8億79百万円減少しましたが、のれんが7億94百万円、投資不動産が9億86百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,691億5百万円となり、前連結会計年度末と比べ305億45百万円減少いたしました。

負債について、流動負債は446億77百万円となり、前連結会計年度末と比べ203億23百万円減少いたしました。この要因は、支払手形及び買掛金が50億52百万円、電子記録債務が59億20百万円、未払法人税等が54億33百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は984億46百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億20百万円増加いたしました。この要因は、長期借入金が5億円、退職給付に係る負債が1億20百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,431億24百万円となり、前連結会計年度末と比べ198億3百万円減少いたしました。

純資産合計は2,259億81百万円となり、前連結会計年度末と比べ107億42百万円減少いたしました。この要因は、利益剰余金が40億35百万円、為替換算調整勘定が12億78百万円それぞれ減少し、自己株式による減少額が49億37百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

《連結業績予想》

ビジネスウェア事業の売上減少及びカジュアル事業の売上、営業利益減少などから、平成28年5月13日に公表した平成29年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	261,000	22,500	22,400	12,600	235.01
今回修正予想 (B)	255,000	22,000	22,200	11,500	219.84
増減額 (B-A)	△6,000	△500	△200	△1,100	—
増減率 (%)	△2.3	△2.2	△0.9	△8.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	240,224	21,336	21,639	11,869	218.06

《個別業績予想》

中核事業であります青山商事(株)ビジネスウェア事業につきましては、当初計画に織り込んでおりました消費税増税に伴う駆け込み需要がなくなるなど、売上は減少するものの、円高による粗利率の改善などから、営業利益は期初計画どおりを予想しております。

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	196,500	20,000	20,600	12,500	233.14
今回修正予想 (B)	192,300	20,000	20,550	12,300	235.13
増減額 (B-A)	△4,200	0	△50	△200	—
増減率 (%)	△2.1	0.0	△0.2	△1.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	189,700	19,196	20,087	11,513	211.52

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,544	40,225
受取手形及び売掛金	18,536	9,960
有価証券	25,899	16,100
商品及び製品	52,674	55,868
仕掛品	965	959
原材料及び貯蔵品	1,439	1,401
営業貸付金	48,915	50,206
その他	7,433	7,507
貸倒引当金	△232	△242
流動資産合計	213,174	181,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,635	61,522
土地	35,975	36,118
その他（純額）	12,186	12,419
有形固定資産合計	109,797	110,060
無形固定資産		
のれん	12,090	12,885
その他	9,150	8,389
無形固定資産合計	21,241	21,275
投資その他の資産		
敷金及び保証金	27,108	27,307
その他	28,249	28,405
貸倒引当金	△27	△78
投資その他の資産合計	55,330	55,634
固定資産合計	186,369	186,970
繰延資産合計	107	148
資産合計	399,651	369,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,880	14,828
電子記録債務	18,373	12,452
短期借入金	3,050	2,850
未払法人税等	7,167	1,733
賞与引当金	1,681	1,737
その他	14,848	11,075
流動負債合計	65,001	44,677
固定負債		
社債	24,000	24,000
長期借入金	58,000	58,500
退職給付に係る負債	5,835	5,955
ポイント引当金	3,029	2,959
その他	7,060	7,030
固定負債合計	97,925	98,446
負債合計	162,927	143,124

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,527	62,531
利益剰余金	131,050	127,015
自己株式	△7,289	△12,226
株主資本合計	248,793	239,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,770	1,145
繰延ヘッジ損益	△70	△91
土地再評価差額金	△16,141	△16,142
為替換算調整勘定	208	△1,069
退職給付に係る調整累計額	△453	△382
その他の包括利益累計額合計	△14,686	△16,540
新株予約権	13	10
非支配株主持分	2,602	2,688
純資産合計	236,723	225,981
負債純資産合計	399,651	369,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	98,853	106,140
売上原価	42,682	47,634
売上総利益	56,171	58,506
販売費及び一般管理費	52,297	55,381
営業利益	3,873	3,124
営業外収益		
受取利息	82	78
受取配当金	82	107
不動産賃貸料	483	540
為替差益	228	—
その他	179	200
営業外収益合計	1,056	926
営業外費用		
支払利息	28	69
デリバティブ評価損	222	393
不動産賃貸原価	410	446
為替差損	—	15
その他	41	49
営業外費用合計	703	974
経常利益	4,226	3,077
特別利益		
固定資産売却益	0	48
投資有価証券売却益	11	20
特別利益合計	11	68
特別損失		
固定資産除売却損	60	115
減損損失	309	117
特別損失合計	370	233
税金等調整前四半期純利益	3,867	2,912
法人税等	1,516	1,121
四半期純利益	2,350	1,790
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,290	1,652

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,350	1,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	686	△631
繰延ヘッジ損益	△25	△20
為替換算調整勘定	24	△1,284
退職給付に係る調整額	10	68
その他の包括利益合計	696	△1,867
四半期包括利益	3,046	△76
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,985	△202
非支配株主に係る四半期包括利益	61	125

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日及び平成28年8月22日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施し、当第2四半期連結累計期間において自己株式が4,999百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は12,226百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ビジネス ウェア 事業	カジュアル 事業	カード 事業	印刷・ メディア 事業	雑貨販売 事業	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	73,765	9,174	1,869	4,217	7,715	96,741	2,112	98,853	—	98,853
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	113	—	192	1,136	0	1,442	—	1,442	△1,442	—
計	73,878	9,174	2,061	5,353	7,715	98,184	2,112	100,296	△1,442	98,853
セグメント利益又は 損失(△)	2,634	360	670	△190	293	3,770	78	3,848	24	3,873

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リユース事業及び飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額24百万円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ビジネスウェア事業」セグメント、「雑貨販売事業」セグメント及び報告セグメントに配分されない全社資産において、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「ビジネスウェア事業」セグメントで221百万円、「雑貨販売事業」セグメントで9百万円、報告セグメントに配分されない全社資産で78百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ビジネス ウェア 事業	カジュアル 事業	カード 事業	印刷・ メディア 事業	雑貨販売 事業	総合 リペア サービス 事業 (注)4	計				
売上高											
(1)外部顧客に 対する売上高	74,509	8,605	2,052	4,005	7,985	5,622	102,781	3,359	106,140	—	106,140
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	98	—	216	1,044	0	5	1,365	—	1,365	△1,365	—
計	74,608	8,605	2,268	5,049	7,985	5,627	104,146	3,359	107,506	△1,365	106,140
セグメント利益又は 損失(△)	2,174	△218	847	△97	410	△17	3,099	6	3,105	19	3,124

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リユース事業及び飲食事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額19百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前第3四半期連結会計期間において、ミニット・アジア・パシフィック株式会社の株式取得に伴い、「総合リペアサービス事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ビジネスウェア事業」セグメント、「カジュアル事業」セグメント、「雑貨販売事業」セグメント及び報告セグメントに配分されない全社資産において、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「ビジネスウェア事業」セグメントで65百万円、「カジュアル事業」セグメントで23百万円、「雑貨販売事業」セグメントで28百万円、報告セグメントに配分されない全社資産で0百万円であります。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,967	29,529
有価証券	25,899	16,100
商品及び製品	45,389	48,538
原材料及び貯蔵品	624	632
関係会社短期貸付金	19,700	21,700
その他	17,953	9,710
貸倒引当金	△6	△2
流動資産合計	157,527	126,208
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	47,395	46,854
土地	33,726	33,792
その他(純額)	16,407	16,601
有形固定資産合計	97,529	97,248
無形固定資産		
	3,077	2,878
投資その他の資産		
投資有価証券	8,547	7,700
敷金及び保証金	25,876	25,966
その他	46,202	50,133
貸倒引当金	△21	△73
投資その他の資産合計	80,604	83,726
固定資産合計	181,211	183,854
資産合計	338,739	310,062
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,101	8,324
電子記録債務	18,084	12,249
未払法人税等	6,440	1,399
賞与引当金	1,158	1,254
その他	12,801	8,430
流動負債合計	50,585	31,658
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
退職給付引当金	4,335	4,550
ポイント引当金	3,020	2,950
その他	4,285	4,232
固定負債合計	61,640	61,732
負債合計	112,226	93,392

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成28年9月30日)
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,526	62,526
利益剰余金	122,937	118,650
自己株式	△7,289	△12,226
株主資本合計	240,679	231,455
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,759	1,144
土地再評価差額金	△15,939	△15,939
評価・換算差額等合計	△14,180	△14,794
新株予約権	13	10
純資産合計	226,512	216,670
負債純資産合計	338,739	310,062

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	74,755	75,151
売上原価	29,733	29,980
売上総利益	45,021	45,170
販売費及び一般管理費	42,432	43,107
営業利益	2,589	2,063
営業外収益		
受取利息	122	100
受取配当金	453	432
不動産賃貸料	1,498	1,609
為替差益	266	32
その他	96	105
営業外収益合計	2,437	2,280
営業外費用		
支払利息	20	58
デリバティブ評価損	222	393
不動産賃貸原価	1,418	1,508
その他	15	15
営業外費用合計	1,677	1,975
経常利益	3,349	2,368
特別利益		
投資有価証券売却益	—	40
特別利益合計	—	40
特別損失		
固定資産除売却損	60	77
減損損失	300	90
特別損失合計	360	167
税引前四半期純利益	2,988	2,241
法人税等	1,122	839
四半期純利益	1,866	1,401

5. 補足情報

(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日		当第2四半期 累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
重衣料	スーツ・スリーピース	21,793	29.8	21,960	29.7	166	100.8
	ジャケット	2,798	3.8	2,774	3.8	△23	99.2
	スラックス	5,372	7.3	5,195	7.0	△176	96.7
	コート	267	0.4	226	0.3	△40	84.8
	フォーマル	10,546	14.4	10,635	14.4	89	100.8
	小 計	40,777	55.7	40,793	55.2	15	100.0
軽衣料	シャツ・洋品類	13,365	18.3	13,432	18.1	66	100.5
	カジュアル類	2,513	3.4	2,145	2.9	△368	85.3
	その他商品	4,892	6.7	4,964	6.7	71	101.5
	小 計	20,772	28.4	20,541	27.7	△230	98.9
レディース類		8,959	12.3	9,849	13.3	889	109.9
ポイント還元額		1,211	1.7	1,178	1.6	△32	97.3
補正加工賃		1,411	1.9	1,595	2.2	184	113.0
合 計		73,131	100.0	73,959	100.0	827	101.1

(注) 1. その他商品は、靴・肌着・雑貨等であります。

2. レディース類には、レディーススーツやレディースフォーマル、レディース洋品類、パンプス等が含まれております。

(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数 (平成28年9月末現在)

(単位:店)

地 域	洋服の青山	ネクスト ブルー	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	ブルー エ グリージオ	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	ホワイト ザ・スーツ カンパニー	合計
北海道	34	0	1	1	0	0	0	36
北海道地方計	34	0	1	1	0	0	0	36
青森県	9	0	0	0	0	0	0	9
岩手県	8	0	0	0	0	0	0	8
宮城県	14	0	1	0	0	0	0	15
秋田県	10	0	0	0	0	0	0	10
山形県	9	0	0	0	0	0	0	9
福島県	11	0	0	0	0	0	0	11
東北地方計	61	0	1	0	0	0	0	62
茨城県	18	0	0	0	0	0	0	18
栃木県	10	0	0	0	0	0	0	10
群馬県	14	0	1	0	0	0	0	15
埼玉県	45	2	2	1	0	0	0	50
千葉県	42	0	2	1	0	0	0	45
東京都	81	1	16	4	0	2	3	107
神奈川県	44	1	4	2	3	0	0	54
関東地方計	254	4	25	8	3	2	3	299
新潟県	16	0	1	0	0	0	0	17
富山県	7	0	0	0	0	0	0	7
石川県	8	0	1	0	0	0	0	9
福井県	5	0	0	0	0	0	0	5
山梨県	4	0	0	0	0	0	0	4
長野県	15	0	0	0	0	0	0	15
岐阜県	13	0	0	0	0	0	0	13
静岡県	24	0	1	0	0	0	0	25
愛知県	47	1	1	0	0	0	0	49
中部地方計	139	1	4	0	0	0	0	144
三重県	13	0	0	0	0	0	0	13
滋賀県	10	0	1	1	0	0	0	12
京都府	18	0	2	1	0	0	0	21
大阪府	45	1	4	2	1	2	1	56
兵庫県	38	0	3	0	0	0	0	41
奈良県	9	0	0	0	0	0	0	9
和歌山県	8	0	0	0	0	0	0	8
近畿地方計	141	1	10	4	1	2	1	160

(単位：店)

地 域	洋服の青山	ネクスト ブルー	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	ブルー エ グリージオ	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	ホワイト ザ・スーツ カンパニー	合計
鳥取県	3	0	0	0	0	0	0	3
島根県	5	1	0	0	0	0	0	6
岡山県	11	0	1	0	0	0	0	12
広島県	19	0	3	0	0	0	0	22
山口県	11	0	0	0	0	0	0	11
中国地方計	49	1	4	0	0	0	0	54
徳島県	5	0	0	0	0	0	0	5
香川県	7	0	0	0	0	0	0	7
愛媛県	9	1	0	0	0	0	0	10
高知県	5	0	0	0	0	0	0	5
四国地方計	26	1	0	0	0	0	0	27
福岡県	31	0	2	0	0	0	0	33
佐賀県	8	0	0	0	0	0	0	8
長崎県	7	0	0	0	0	0	0	7
熊本県	10	0	0	0	0	0	0	10
大分県	9	0	0	0	0	0	0	9
宮崎県	10	0	0	0	0	0	0	10
鹿児島県	12	0	0	0	0	0	0	12
沖縄県	7	0	0	0	0	0	0	7
九州地方計	94	0	2	0	0	0	0	96
合計	798	8	47	13	4	4	4	878

(注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサル ランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

2. 店舗の出退店等の状況（平成28年4月～平成28年9月）

	出店	閉店	
		内 移転	
洋服の青山	5	1	4
ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	2	0	0
ホワイト ザ・スーツカンパニー	2	0	0
計	9	1	4